

第 117 回 計測技術委員会議事録

日 時 平成 20 年 2 月 22 日 (金) 14:00～16:00

場 所 電気倶楽部 第 2 会議室

出席者 委員長 信太 (佐賀大)

委 員 稲垣 (横河電機)、内田 (電通大)、大木 (日電検)、佐山 (防衛大)
仲嶋 (三菱電機)、山崎 (電中研)

参 加 田辺 (電中研)

幹 事 作本 (日電検)、大谷 (アンリツ)

幹事補佐 白井 (日電検)

資 料

117-1 第 75 基礎・材料・共通部門研究調査運営委員会議事録および計測技術委員会活動報告

117-2 平成 20 年度 計測技術委員会活動計画 (三次案)

117-3 平成 20 年度 計測研究会開催予定 (三次案)

117-4 平成 19 年度 計測技術委員会活動状況および平成 19 年度 計測研究会開催状況

117-5 平成 19 年度 優秀論文発表賞受賞者 (報告書)

117-6 電気工学ハンドブック (6 版) の目次と執筆者

117-7 平成 20 年度 A 部門表彰 受賞候補者の推薦依頼

117-8 2007 年 Chapter 会計報告

議 事

1. 議事録の確認

- ・ p. 2 ↓ 2 「3 月 17 日～19 日」を「3 月 19 日～21 日」に訂正した後、承認された。

2. 運営委員会報告 (平成 20 年 2 月 8 日開催分)

白井幹事補佐 (信太委員長代理出席) より、資料 117-1 に基づき以下の報告があった。

イ. 調査専門委員会の解散 (3 件) および新設 (6 件) が承認された。

[解散]

- ・ リソグラフィ先端技術調査専門委員会 (光応用・視覚技術委員会)
- ・ 生体および医療における磁気利用調査専門委員会 (マグネティックス技術委員会)
- ・ マイクロ磁気デバイスの情報通信機器への応用技術調査専門委員会 (マグネティックス技術委員会)

[新設]

- ・ 静電気放電 ESD と EMC 技術調査専門委員会 (電磁環境技術委員会)
- ・ リソグラフィ極限技術調査専門委員会 (光応用・視覚技術委員会)
- ・ 絶縁診断に基づく電力機器のアセットマネジメント調査専門委員会 (誘電・絶縁材料技術委員会)
- ・ 高周波マイクロ磁気応用技術調査専門委員会 (マグネティックス技術委員会)
- ・ プラズマによる水処理・水高機能化と水界面における反応過程調査専門委員会 (プラズマ技術委員会)
- ・ アーク・グロー放電の応用技術調査専門委員会 (放電技術委員会)

ハ. 全国大会等について

- ・ 平成 22 年全国大会は 3 月 17 日～19 日に明治大学で開催される。また、平成 21 年の部門大会は静岡大学 (浜松) が予定されている。

ニ. 優秀論文発表賞について

- ・計測技術委員会から推薦した岸部氏（電気通信大学）の受賞が承認された。

3. 平成 20 年度活動計画並びに計測研究会開催予定三次案

作本幹事より資料 117-2 および 117-3 に基づき、平成 20 年度活動計画並びに計測研究会開催予定三次案について説明があった。

- ・二次案と変更はない。また、東京支部連合研究会は早稲田大学が予定されている。
- ・10 月は「温度計測および一般」を、12 月は「生体計測および一般」を予定する。また、5 月の「一般計測」は岡山での開催を検討する。
- ・新設の調査専門委員会について、生体関係の委員会であれば可能性があるのではないかと。

4. 平成 19 年度活動状況

作本幹事より資料 117-4 に基づき、平成 19 年度活動状況について報告があった。

- ・見学会は開催できなかった。また、平成 19 年に開催された計測研究会の発表件数は 53 件となった。
- ・マグネティックス技術委員会で設けている研究奨励賞のように、計測研究会を対象とした独自の賞を検討してはどうか。
- ・3 月 4 日の「磁気応用計測および一般」は、仙台市民会館で開催する。

5. 優秀論文発表賞について

白井幹事補佐より資料 117-5 に基づき、優秀論文発表賞について説明があった。

- ・平成 19 年～21 年の A 部門研究会への割り当ては 16 件で、論文数により比例配分される。なお、計測技術委員会の平成 20 年の繰り越しは-0.226 である。
- ・電気技術史の研究会は計測に関連する発表も行われているので、合同で開催してはどうか。

6. 電気工学ハンドブックについて

白井幹事補佐より資料 117-6 に基づき、電気工学ハンドブックの改訂について説明があった。

- ・電気工学ハンドブックの改訂について、追加又は削除する項目の検討が求められている。各委員は担当分野の目次で変更する必要がある場合は、幹事補佐に連絡してほしい。

7. A 部門表彰受賞候補者推薦

白井幹事補佐より資料 117-7 に基づき、A 部門表彰について説明があり、該当する候補者があ
る場合は幹事補佐に連絡することとなった。

8. IEEE Chapter 会計報告

作本幹事より資料 117-8 に基づき、会計報告があった。

- ・Japan Council から支援費の入金がある。会合等に使用できるので、活用してほしい。

9. 構成員交替について

任期満了の委員について、稲垣委員は竹内氏に、内田委員は長井先生に交替する。

次回予定

日 時 平成 20 年 5 月 16 日 (金)

場 所 未定